

経営比較分析表（令和5年度決算）

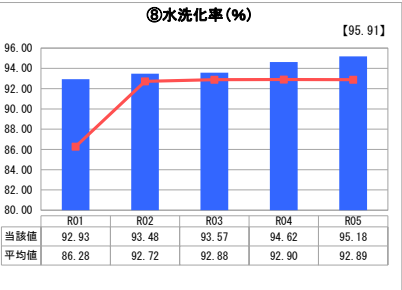
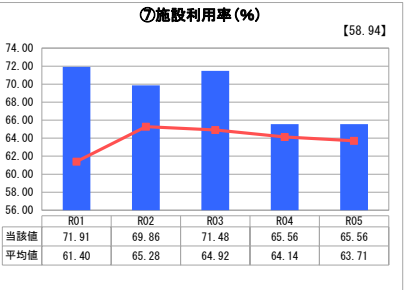
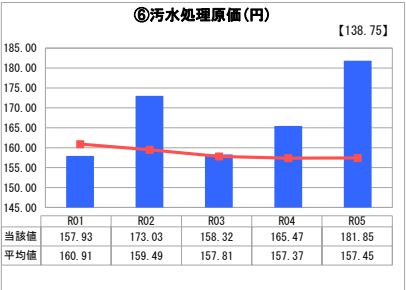
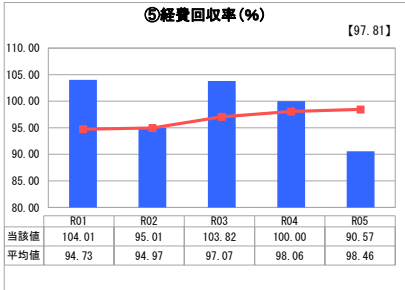
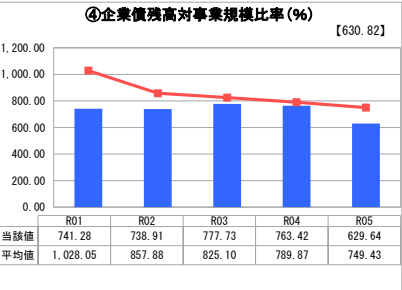
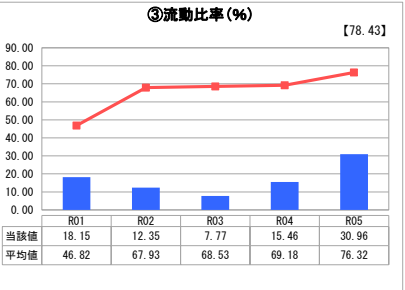
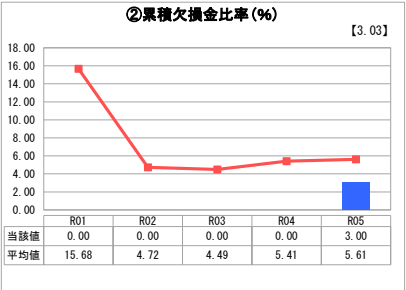
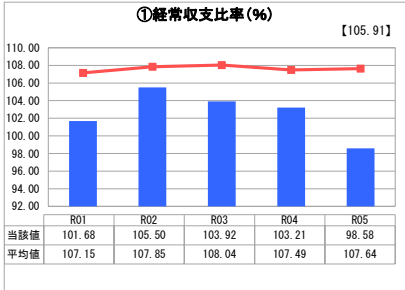
石川県 津幡町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	55.19	92.38	107.70	3,520

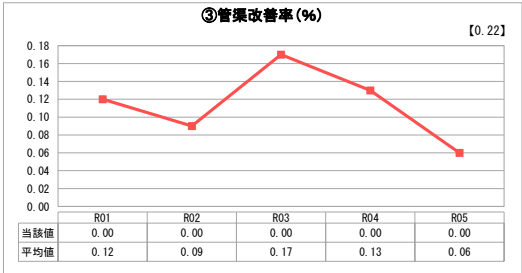
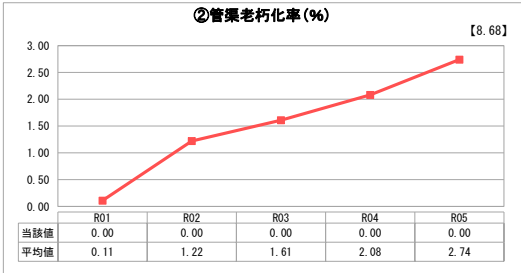
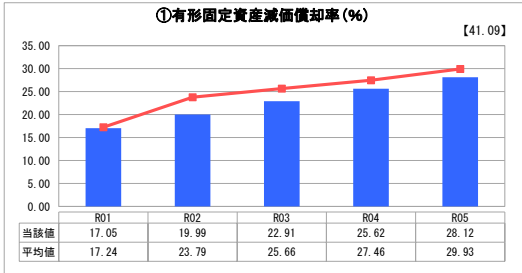
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
37,457	110.59	338.70
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
34,553	8.58	4,027.16

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を下回り、単年度収支は赤字となったが、企業債残高対事業規模比率、施設利用率、水洗化率は、類似団体平均値と比較し良好である。

一方、経常収支比率、流動比率、経費回収率、汚水処理原価は、類似団体平均値と比較し下回っている。

全体として、経営状況は類似団体と比較し悪くなっている。引き続き経営の健全化、効率化を図るため、今後も収入の増加、支出の削減を推し進める。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比較し低くなっている。また、法定耐用年数に近い、もしくは超過した資産は見受けられない。

現在、管渠について、カメラ調査や耐震化工事を定期的の実施し、適正な維持管理に努めている。また、ポンプ場や処理場については、設備更新工事を計画的に実施し、長寿命化に努めている。

全体総括

今後、管渠やポンプ場、処理場の老朽化が進み、更新のため支出の増加が見込まれる。過大な投資を避けながら、整備を促進する必要がある。収入増加策として、下水道への接続促進や国庫補助金を活用した財源の確保を図るとともに、使用料の見直しなど適正な使用料の設定を検討する。また、民間委託など安価な管理を更に推し進め、支出を削減させる。

また、令和6年能登半島地震に伴う被災箇所の復旧工事が長期的に続くこととなるため、計画的に事業を進めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。